

科目	英語コミュニケーションⅡ	単位数	4	週時間数	4	年次・コース・組	2年次・探究コース(理・文)
使用教材	教科書 Heartening English Communication I・Ⅱ、Workbook、参考書 Genius総合英語、辞書						

目標	1. 英語コミュニケーションⅠで身に付けた知識・技能を活用し、英語で「聞く」、「読む」、「話す(やり取り・発表)」、「書く」の言語活動を統合的に行うことで、情報や考えなどを的確に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を身に付ける。「読む」能力については、1分あたり110語程度の語数を処理できることを目標とする。 2. 授業の予習・復習、課題への取組等により、言語活動を行う基盤となる文法、発音、語彙・表現等の知識・技能を身に付ける。語彙力については、年度末までに習得語数3600語以上を目指す。
----	--

身につけてもらいたい力

評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	ステップ3 ・英語の特徴や決まりに関する事項を理解している。 ・コミュニケーションを行う目的・場面・状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、必要な情報や考え、気持ちなどを相手に論理的に伝える技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的・場面・状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、必要な情報を読み取ったり聞き取ったりするとともに、自分の気持ちや考え等を論理性に注意して相手に伝えている。	コミュニケーションを行う目的・場面・状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、必要な情報を読み取ったり聞き取ったりするとともに、自分の気持ちや考え等を論理性に注意して相手に伝えようとしている。
	ステップ2 ・英語の特徴や決まりに関する事項を理解している。 ・コミュニケーションを行う目的・場面・状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、必要な情報や考え、気持ちなどを相手に適切に伝える技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的・場面・状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、必要な情報を読み取ったり聞き取ったりするとともに、自分の気持ちや考え等を適切に相手に伝えている。	コミュニケーションを行う目的・場面・状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、必要な情報を読み取ったり聞き取ったりするとともに、自分の気持ちや考え等を適切に相手に伝えようとしている。
	ステップ1 ・英語の特徴や決まりに関する事項を理解している。 ・コミュニケーションを行う目的・場面・状況などに応じて、日常的な話題について、必要な情報や考え、気持ちなどを相手に伝える技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的・場面・状況などに応じて、日常的な話題について、必要な情報を読み取ったり聞き取ったりするとともに、自分の気持ちや考え等を相手に伝えている。	コミュニケーションを行う目的・場面・状況などに応じて、日常的な話題について、必要な情報を読み取ったり聞き取ったりするとともに、自分の気持ちや考え等を相手に伝えようとしている。
評価方法	授業時の観察、定期試験、パフォーマンステスト、小テスト	授業時の観察、定期試験、パフォーマンステスト、小テスト	授業の取り組み姿勢や意欲、課題への取り組み、音読評価シート、自己評価シート

※この評価規準(目標)により評価しますが、各単元の目標や難易度によって達成度が変わってきます。

それらを考慮しながらA、B、Cの評価をし、またそれを基に5段階の評価がつけます。

授業の形態、方法

授業では主に語彙の確認、内容把握、重要事項の説明、音読、リテリングを行います。一斉授業の他に、グループ学習、ペア学習、発表などを行います。

担当者より

授業は予習したことを復習する場、予習段階で不明だった点を理解していく場と考え、授業には必ず予習をして臨むこと。授業後は、学習内容の理解を深め、自分のものとして使うことができるようにするため、音読を中心とした復習をすること。各Partの復習の授業では、音読確認シートを使って音読の評価を行っていきます。
--

学習計画

月	単元名	予定時数	学習の内容とねらい	実施時数
4	【Heartening I】 Lesson 10 Capturing the Reality of the World	10	【内容】 フォトジャーナリスト安田菜津紀氏が仕事を通じて学んだ使命について述べた物語文。主体的に社会の形成に参画し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う。また、以下の言語材料を用いて、学習した内容を口頭で説明したり、書いたりできるようになる。 【言語材料】 ・仮定法過去／仮定法過去完了 ・仮定法を使った表現	
5	【Heartening II】 Lesson 1 Laughter without Borders (前期中間テストI)	10	【内容】 海外で狂言を広めている、チェコ出身のオンジェイ・ヒーブル氏へのインタビューを読む。伝統と文化を尊重し、我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の発展に寄与する態度を養う。また、以下の言語材料を用いて、学習した内容を口頭で説明したり、書いたりできるようになる。 【言語材料】 ・未来を表す表現(未来進行形／be to do) ・時制の一致	
6	Lesson 2 The Ongoing Voyages of Curry (前期中間テストII)	16	【内容】 インドのカレーがどのように日本のカレーへと変貌したかについての説明文を読む。伝統と文化を尊重し、我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の発展に寄与する態度を養う。また、以下の言語材料を用いて、学習した内容を口頭で説明したり、書いたりできるようになる。 【言語材料】 ・未来完了形 ・前置詞	
7・8	Lesson 3 The World's Most Bicycle-friendly City	12	【内容】 コペンハーゲンがどのようにして世界有数の自転車都市となったかについての説明文を読む。環境の保全に寄与する態度や、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う。また、以下の言語材料を用いて、学習した内容を口頭で説明したり、書いたりできるようになる。 【言語材料】 ・助動詞＋have＋過去分詞 ・助動詞に関連する表現	
9	Lesson 4 Can You Feel Emotions in Text? (前期末テスト)	12	【内容】 国や文化による顔文字の違いについての論文を読む。幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度や、他国を尊重し、国際社会の発展に寄与する態度を養う。また、以下の言語材料を用いて、学習した内容を口頭で説明したり、書いたりできるようになる。 【言語材料】 ・さまざまな動名詞 ・動名詞を使った表現	
10	Lesson 5 Background Music and Sharks	16	【内容】 サメの動画において、そのBGMが人に与える影響について述べた報告文を読む。幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度や、環境の保全に寄与する態度を養う。また、以下の言語材料を用いて、学習した内容を口頭で説明したり、書いたりできるようになる。 【言語材料】 ・さまざまな不定詞 ・seem [appear] to do／seem [appear] to have＋過去分詞	
11	Lesson 6 The Benefits of Play (後期中間テスト)	12	【内容】 遊びが成長にもたらす利点についての説明文を読む。個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培うとともに、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う。また、以下の言語材料を用いて、学習した内容を口頭で説明したり、書いたりできるようになる。 【言語材料】 ・SVOOの受動態 ・They say [believe] that … などの受動態	
12	Lesson 7 Nursing in a War Zone	7	【内容】 国境なき医師団の看護師、白川優子氏の活動についての物語文を読む。主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度や、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う。また、以下の言語材料を用いて、学習した内容を口頭で説明したり、書いたりできるようになる。 【言語材料】 ・さまざまな分詞構文 ・独立分詞構文／付帯状況を表す(with＋名詞＋分詞)	
1	Lesson 8 Hawaii's Debate about a Sacred Mountain	13	【内容】 神聖な山に最新の望遠鏡を設置すべきかについて、対立する2者の意見文を読む。伝統と文化を尊重する態度や、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う。また、以下の言語材料を用いて、学習した内容を口頭で説明したり、書いたりできるようになる。 【言語材料】 ・比較に関する表現 ・従属接続詞	
2・3	Lesson 9 The Next Wave in Artificial Intelligence	12	【内容】 人工知能の最新技術やロボットとの共生についての説明文と意見文を読む。主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う。また、以下の言語材料を用いて、学習した内容を口頭で説明したり、書いたりできるようになる。 【言語材料】	
合計時数		125		